

日本武尊の東征伝説にちなむ百名山
上州武尊山

実施日 2014年9月13日(土)~14日(日)

天候 晴れ

C L 涌井 良明

S L 伊藤 久雄

参加者 齋恵美子、涌井良明、白石恵美子、石附智江、中村友子、伊藤久雄、宇野輝代、徳山敬子、瀧沢きよの、石附恵理子、峯川弘子、清水久子 計12名

費用 JR5,180円(上野起算) 送迎送迎(1,000円) 計6,180円

タイム 9/13 沼田(13:09)吹割ノ滝(13:55~15:15)ペンション尾瀬武尊(16:00) 前泊
9/14 宿舎(6:00)OGNAスキー場林道最奥(6:25~30)スキー場最上部(6:50~7:00)前武尊山(8:00~10)家ノ串山(9:25)中ノ岳肩分岐(10:00)沖武尊山頂(10:40~11:10昼食)中ノ岳肩分岐(11:43~50)休憩・1960m付近(12:20~30)武尊避難小屋(13:20~35)武尊牧場スキー場夏山リフト下(15:00)花咲ノ湯(15:30~16:50)沼田駅(17:50~58)高崎(18:43)

9/13 上州の名山武尊山へやっと思行ける機会がやってきた。当初リーダーのI氏の代行として参加したが、メンバーの皆さんと良い山行とすることができた。連休で通勤並みに混雑した上越線を沼田駅で下車、直ぐに宿の送迎バスも到着し、電車からバスに乗換へての車中人へ。



上の沼田市街からまずは観光で吹き割りの滝へ、岩の割れ目に落ちる珍しい滝を見物、更に少し離れた山腹

に付けられた遊歩道を歩き、少し足慣らしも出来た。

宿近くの武尊溪谷にも立ち寄ってから、宿舎のペンションへ、建物設備は割と年代ものだが、温泉アリで夕食は量・質共素晴らしかった。夕食前の小宴会は絶対不要の宿であった。我々の貸切で各部屋それぞれに早め?に就寝。

9/14 6時の早朝出発を希望したが、何と5時からの朝食に応じていただいた。ご主人も山やに理解ある方で有難かった。という訳で、6時に宿のバスでOGNAスキー場へ送ってもらうが、スキー場専用の管理林道(未舗装&コンクリ)の最上部まで登ってもらい、約1時間程の時間短縮をすることができ大人数だった我々は大助かりだった。



スキー場最上部ゲレンデから歩き始め、リフト

降り場付近から登山道と思ったが、実はもっと手前から登山道に入る必要があった。登山道探しに少し手間取ったものの、まずは前武尊に向けて登って行く。道の脇にはリンドウが目立ち秋の山を感じさせる。所々岩も混じった急登だ。しかし実に久し振りに感じる青空と樹間からの眺望を楽しみつつ歩く。

1時間程で前武尊に着く、東屋が建ち御嶽信仰の山でもある武尊山開山の普寛行者立像が鎮座している。



ここからは武尊山塊の稜線を迎える道になる。沖武尊迄の標高差は百数十mだが、



岩稜や小さな登降が続く道で時間はかかりそうだ。

北へ向かい少し下ると剣ヶ峰の鋭い岩稜(峰)が目に入る。岩稜は稜線右側(東側)裾を巻いて越し、その先の岩稜は左側から巻いて稜線に戻る。

道は上越の山らしい灌木と笹が茂る道を

道は上越の山らしい灌木と笹が茂る道を

行く。あまり特徴のない家の串山を越し、所々に現れる岩稜では前方に広がる美しい稜線を目にその先の沖武尊を目指す。



痩せた岩稜帯の慎重な歩行と小さな登降も繰り返すので、やはりそれなりに時間がかかるが、好天と無風が

有難い。

中ノ岳南肩分岐を過ぎると水場がある。旨い水だが今日は？ポタチョコ程度なので、確保には時間がかかる。

中ノ岳直下の山腹の道をトラバース気味に過ぎると小さな三ツ池と湿地帯がある。ここを過ぎて山頂の人影も見分けられるようになり、右上に日本武尊の立像を見ると僅かで上州武尊山頂(沖武尊)に着いた。

広くはないが連休好天で賑やかな山頂だ。眺望はぐるっと良好だが、西から北東にかけての



峰々は上部に雲がかかりすっきりした姿は見られないが、日光や尾瀬方面の山並が気持ち良い眺めだ。

朝食が早かったので腹減った！

人は多いがスペースはあるので、思い思いに昼食にしてから集合写真に収まって下山になる。

武尊牧場キャンプ場までの下りも、長い道のりとなりそうだ。

中ノ岳南肩分岐までは往路に戻る。行者装束で登拝の登山者と行き違う、信仰の山はまだまだ健在である。

分岐から左へ牧場への道に入る。

始めは灌木帯の緩い下り道を行き、ダケカンバの目立つ斜面を過ぎると、下山道の核心部の岩場も多い急下降になってくる。ロープ、クサリ、ハシゴ(9/21の武尊ウルトラトレイルのために臨時に付けられたか



も知れない)と岩場部分を下り切ると、樹木も灌木からブナなど森の道になってくる。この付近でも今年は熊の日撃情報も多

いようだが、大勢でかつ女性が多いのは心強い？

やや単調な下りが続き、トンガリ屋根の武尊避難小屋に着いてしばし休憩。

道も広がり傾斜も更に緩くなり、いかにもヌ〜ッと☹️サンが現れそうな雰囲気が無いでもない。

途中で見つけたキノコその1その2を採取したりしつつのんびり下る。

牧場キャンプ場(スキー場)が近くと導標も多くなり、それらにも導かれてキャンプ場へ。美しい白樺林や道脇のなび



くススキが良い気分

にさせてくれるスキー場内の夏山リフト下まで歩いて上州武尊山の歩きは終わりになった。

さて、迎えの宿オーナーにキノコ確認をしてもらおうが・・・？

はたしてキノコその2は代表的な毒キノコと分かりア〜ア

下山後は片品村『花咲の湯』でサッパリしてから、沼田駅まで送ってもらい高崎で解散、それぞれ帰路になった。

連休としては8月以降最も好天だったこともあり、登山者も多かったが好印象を持てた山であった。多少心配だった岩場も難なくこなすメンバーは頼もしい。

また、宿舎も早朝出発に対応してたり、送迎も有料ではあるが我儘も聞き届けてもらい有難かった。

メンバーの皆様有難うございました。それにしても最近男女比が偏っているようです。ガンバレ！(男)会員

(記&写真・涌井 良明)

